

情報通信系（学士課程）

アドミッション・ポリシー（求める人材像と求める力）

情報通信系では、次のような人材を求めます。

- ・情報通信工学を通して人類と社会の発展に貢献しようという高い志を有する人
- ・自らの能力向上のために、情報通信工学と、それに関連する分野を積極的に学ぶ意欲をもつ人
- ・情報通信工学を学ぶために、数学・物理を中心とする確実な基礎学力を身につけた人
- ・論理的思考力を有し、他者と意思疎通できる基本的なコミュニケーション力を備えた人

アドミッション・ポリシー（入学者選抜方針）

【一般入試（前期）】《全類共通》

求める能力と適性を有する人材を選抜するために、高等学校の段階の学力確認を行うとともに、本学で学ぶために必要となる、数学、物理、化学および英語に関わる基礎学力ならびにこれを応用する力、論理的な思考力を評価する試験を行います。

【特別入試（AO入試）】

《5類》

求める能力と適性を有する人材を選抜するために、以下の内容で試験を行います。

- ・筆記試験においては、与えられた技術課題に対する解決法を提案し、それを論理的かつ明快に記述する能力を問います。
- ・面接試験においては、電気や情報の分野に対する志望動機、学習意欲及び適性を評価します。

情報通信系（学士課程）

カリキュラム・ポリシー（教育内容）

本系では、「ディグリー・ポリシー（修得する力）」を身につけるために、次のような内容の学修を行う。

A) 情報通信分野の専門基礎の学修

情報通信分野における研究・技術開発に必要な200番台の基盤科目を学修する。

B) 創造的提案力ならびに課題解決力の学修

個別に設定した学士特定課題研究テーマに取り組むことにより、社会と研究・技術との関わりを学ぶとともに、創造的提案力ならびに課題解決力について学修する。

C) 情報通信分野に関する業務への適応力の学修

300番台の展開科目を通して、情報通信分野に関する業務を理解し、各業務に適応できる能力について学修する。

D) 論理的説明力ならびに文書力の学修

学士特定課題研究を通して、日本語や英語を用いた論理的な説明力や文書力を学修する。

E) 国内外の産業界等の動向に関する高度な視野の学修

研究プロジェクトや学士特定研究を通して、国内外の情報通信産業の最新動向を学び、広い視野と強い倫理観を身につけるための学修を行う。

ディグリー・ポリシー（修得する力）

情報通信系では、次のような力を修得することができる。

- ・情報通信工学に関する研究・技術開発に必要な基礎学力と論理的思考能力および高い倫理観
- ・情報通信工学の新分野、未知領域の研究・技術開発で必要となる、高度な専門知識と問題解決のための戦略構想力とそれを実現するための指導力
- ・情報通信工学の知識に加えて様々な知識を総合し、「もの」を作り上げる創造的システム開発力
- ・他人の意見を尊重しつつ、自分の意見を論理的に表現できるコミュニケーション力と説得力